

あぐり最前線



土壌分析をしましょう！ —コスト低減に向けて—

J Aでは、肥料の過剰施肥による無駄をなくしコスト低減に繋げるため、土壌分析を毎月実施しています。分析を希望される方は、約1合程度(200g)を採土し、必ず土壌を乾燥させてから袋に入れ、住所氏名TELと、水稲・野菜(キャベツ、ハクサイ:等)・果樹(ミカン、カキ:等)など品目を記入して、8月16日(金)までに各営農センターへ「持参ください。分析結果は9月中旬頃に」ご連絡いたします。

市場出荷休日カレンダー (野菜・果樹)

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

×は出荷できない日 □は日曜・祝日等

※防除薬剤のあとの数字は、安全使用基準で、**(収穫何日前まで使用可能か/通算使用可能回数)**を表しています。農薬は農薬安全使用基準を守り、正しく適期に防除してください。
例)表記が「14日/2回」の場合:収穫14日前までに2回使用可能



●病虫害防除

- ◎基幹防除
- ▽8月中旬(早生)・8月下旬(中生)
 - ・9月上旬(晩生)
 - ・スタークル(顆) 200倍(7日/3回)
 - *乳熟期以降にトビイロウンカの発生がある場合は「エミリア(フ) 100倍(7日/2回)」を散布してください。
- ◎豆つぶ剤防除
- ▽8月上旬(早生)・8月中旬(中生)
 - ・8月下旬(晩生)
 - ・スタークル豆つぶ 250g/10a(7日/3回)

①出穂2週間前までに草刈り作業

畦畔のイネ科雑草、水田周辺雑草地は斑点米カメムシ類の発生源になります。出穂2週間前までに草刈りをしましょう。
出穂後に行くと、かえってカメムシ類を水田に追いたて被害を増やすこととなるため注意してください。

②薬剤による適期防除を

斑点米(カメムシ類)による吸汁被害が発生しやすい乳熟期(穂揃期(1圃場の90%が出穂した状態)から7~10日後)にスタークル(顆)を散布しましょう。
また、坪枯れ(トビイロウンカ)による吸汁被害の発生を抑えるため、防除薬剤が株元まで届くようういねいに散布しましょう。

●良質米生産のチェックポイント

未熟粒(青未熟粒・心白粒など)や胴割粒は、品質(等級)を低下させる最大要因となっています。未熟粒は、登熟初期に玄米への養分集積が悪くなると発生しやすくなります。そのため、出穂期以降の水管理が特に重要になってきます。

①適切な水管理

出穂期から2週間程度は常時湛水を保ち、その後は間断かんがいをを行うように

しましょう。

②適期落水の励行

早期に落水すると水分・養分が不足し、粒張りが悪くなるとともに、乳白米や未熟米の発生が多くなります。特に、砂壤土の水田では注意が必要です。落水後、高温が続く田面が乾きすぎる場合は、走り水を行い、根の老化を防ぎましょう。

収穫時期は、出穂後の平均気温積算値によりある程度予想することができます。

【例】キヌヒカリ 900~1000℃

*出穂後、平均気温が1℃高くなると収穫は1~2日早まります。

【収穫の目安】(6月5日田植えの場合)

- ※ハナエチゼン▽9月1日
- ※イクヒカリ▽9月5日~10日
- ※キヌヒカリ▽9月7日~13日
- ※にじのきらめき▽9月12日~20日
- ※きぬむすめ▽9月20日~30日
- ※ヒノヒカリ▽9月25日~10月5日
- ※にこまる▽9月28日~10月8日
- *生育状況を見ながら適期刈り取りを行ってください。

③適期に刈り取り

全株の稔実率が85%程度黄化した時が、刈り取りのポイント。適期より早刈りすると青米が増加し未熟粒が多くなり、刈り遅れると透明度が低下し茶米や胴割れ米が発生しやすくなります。刈り遅れによる品質低下が多いので注意しましょう。

④玄米水分は14・5%

収穫後、出来るだけ早く(4時間以内)通風してください。また、急激な乾燥は避けてください。
*高温、急激な乾燥は胴割れ米の原因となります。

⑤よい調整で良質米に仕上げる

乾燥直後の粳すりは肌すれ米や胴割れ米になりやすいので、温度が下がってから始めましょう。肌すれ米は、保管期間が長くなればカビ等の発生につながります。

⑥粳・異物等の混入に注意

⑦正味重量(玄米重量:30kg)確保
決まった量目を必ず入れましょう。



今月は高温・乾燥対策が必要です。高

温・乾燥は、カルシウム欠乏による尻腐れ果や日焼け果の発生を助長します。土壤水分を適度に保ち、被害果の発生を抑えるようにしてください。尻腐果の対策として、Ca液肥50倍を生育に応じて施用しましょう。また、シシトウで発生する辛味果は乾燥や草勢低下で起こります。灌水・追肥・不良果の摘果などで草勢の維持、回復を図りましょう。

●追肥
・マンスリー2号(液肥) 1000倍

ダイコン

圃場準備

病原菌は、被害残さと共に土壤中に1年以上生存するため、土壤消毒を徹底する必要があります。連作障害の回避や土壤病害センチュウ被害の軽減や雑草抑制にもなるため、土壤消毒剤を適切に使用し防除してください。なお、土壤消毒剤にはそれぞれ特徴があるため、目的に応じて使用しましょう。

病害が問題となっている圃場は、クロルピクリン含有量の多い資材を選択し、虫害が問題となっている圃場では、D・D含有量の多い資材を処理しましょう。

D・Dを含有する資材はガス抜けが悪いので、より丁寧な耕起を行うようにしてください。

青ネギ

秋まき栽培が始まります。青ネギは根が浅いことから有機質に富み、通気性・

排水性・保水性に優れた土壌が適しています。堆肥を投入し、土づくりしましょう。

●播種
10aあたり15〜2ℓを用意し、128穴プラグトレイに1穴あたり10粒程度播種します。播種後、パーミキュライトなどで薄く覆土し、灌水します。病害防止のため、トレイは直接土の上に並べないようにしましょう。

●定植
株間15〜20cm、畝幅120〜130cmの4条植えとします。浅植えをし、定植後は十分灌水し活着を促しましょう。

●病害虫防除
◎アザミウマ類・ネギハモグリバエ
・スタークル(顆) 50倍(0.5ℓ灌水/トレイ)(定植前日〜定植時/1回)

キュウリ

摘葉・灌水

茎葉が混んでくると落花や不良果が生じるため老化や病気になった葉を摘葉してください。土の乾燥具合を見て灌水を行ってください。

●病害虫防除
▽8月上旬
◎うどんこ病・灰色かび病・べと病
・ダコニール1000 1000倍(前日/12回)
◎アザミウマ類・コナジラミ類・ハダニ類
・アグリメック 500〜1000倍(前日/2回)

ナス

更新剪定

樹冠内部の日当たりを良くし、着色・品質向上を図りましょう。
イチジクの葉は果樹の中でも大きいため、結果枝下部の果実や樹冠内部が過繁茂の場合、日照不足による着色不良果となります。結果枝の上部を絞りこみ、葉を巻きこむことで日当たりを良くしましょう。

イチジク

●施肥
▽8月上旬
・有機ユートップ668(40kg/10a)

カキ

8月は、最終的な着果量を決定する仕上げ摘果の時期です。もう一度園内を見回り、着果過多の部分や樹冠ふところの小玉果、または病害虫被害果、傷果等を摘果しましょう。

●摘葉
9月初旬の果実の果頂部より緑色が抜け始めた頃、果実周辺の葉を3〜5枚除去すると、へた部の着色促進に効果があります。

●病害虫防除
▽8月上旬 ※刀根早生・富有
◎落葉病・炭そ病・うどんこ病
・スコア(顆) 300倍(前日/3回)
◎イラガ類・カキノヘタムシガ
・フエニックス(顆) 400倍(7日/2回)
▽8月中旬〜下旬 ※刀根早生

なり疲れにより草勢が衰えてきます。そこで、主枝から出ている側枝を2〜3節残し切ることで元気で新しい芽が出て、1ヶ月程で収穫が可能になります。

●病害虫防除
▽8月上旬(更新剪定時)
◎褐色腐敗病・すすかび病
・プロポーズ(顆) 1000倍(前日/4回)
◎アブラムシ類・アザミウマ類・コナジラミ類
・スタークル(顆) 2000倍(前日/2回)

◎ハダニ類
・ダニトロン(フ) 2000倍(前日/1回)
▽8月中旬
◎灰色かび病・菌核病
・ファンタジスタ(顆) 2000〜3000倍(前日/3回)

◎アザミウマ類・チャノホコリダニ・ハダニ類・ハスモンヨトウ
・アファーム(乳) 2000倍(前日/2回)
▽8月下旬
◎うどんこ病
・アミスター20(フ) 2000倍(前日/4回)
◎アブラムシ類・アザミウマ類・コナジラミ類・テナントウムシダマシ類
・モスピラン(顆) 2000〜4000倍(前日/3回)

水田裏作野菜全般

8月播き品種は高温期の育苗のため、苗作りが重要なポイントです。高温対策として涼しい場所を選び、寒冷紗などで高温障

害を防いでください。また、こまめに灌水をしていきますが、多すぎると立枯病が発生しやすくなるので注意しましょう。

●播種
【キャベツ】
※星岬SP▽8月5日〜15日
※恋岬SP▽8月15日〜31日
【ハクサイ】
※CR0501・秋の祭典▽8月25日〜30日
※黄つづみ78(T・H・A・583)
▽8月25日〜9月7日

【ブロッコリー】
※トップスター▽8月10日〜15日
※SK9・09 ▽8月5日〜15日
※おはよう ▽8月15日〜20日
※こんにちは ▽8月15日〜30日
※クリア ▽8月20日〜9月15日

●病害虫防除
▽播種覆土後
・ミネクトデュオ(粒) 40g/トレイ(1回)
▽定植前日〜当日(根こぶ病対策)
・ランマン(フ) 500倍(2ℓ灌水/トレイ)(1回)

果樹全般

カメムシが園地に飛来してくる時期です。これから収穫がはじまる品目では園内を注意して見回しましょう。カメムシ発生が認められた場合は速やかに薬剤散布を、また台風対策として支柱・枝吊りを行い、風による枝折れ・傷果を防ぎましょう。

・アグリメック 1000〜2000倍(7日/3回)
▽8月下旬〜9月中旬
◎ミカンハダニ・ミカンサビダニ・チャノホコリダニ
・ダニゲッター(フ) 2000倍(前日/1回)
●浮皮・果皮障害対策
・バイカルティ 1000倍加用(防除毎)

適切な農薬散布を!

- ラベルを確認しましょう。
 - ドリフト防止対策を徹底しましょう。
 - 機器・用具等の洗浄や付着に注意。
 - 使用状況は必ず確認を!
- ※誓約書・防除記録は必ず提出しましょう。

農地中間管理事業による

農地の貸借・借受希望者募集中
この事業は、(公財)和歌山県農業公社(農地中間管理機構)が、規模縮小や後継者がなく離農しようとする農家の農地を借り受け、規模拡大したい農家や新規就農者等に貸し付けるものです。

農地中間管理事業のメリット

- 1 公的機関の機構との契約なので安心!!
出し手農家：農地は契約期間が終われば確実に返還されます。賃料は公社が回収するので手間がかかりません。
- 2 一定の要件を満たせば支援が受けられます。
受け手農家：農地の所有者が複数の場合でも契約は公社とだけで済むので、借入期間中は安心して耕作可能。

詳しくは、
農業生活部 ☎4733-0940(2)
または、お問い合わせください。

ウメ

今月の作業は、夏期剪定です。
夏期剪定は、樹勢が強く栄養成長の盛んな樹を対象に樹勢を落ち着かせ、着果向上を目的に行います。樹冠内部の真上に伸びた徒長枝を間引き、日光が内部に入るようにしましょう。ただし、切り過ぎると樹勢を弱めたり、主枝などが日焼けを起こす原因となりますので注意してください。

モモ

収穫作業が終盤に差し掛かります。収穫後の日持ちを良くするため、果実温の低い早朝から収穫を始め、気温の上昇する午前10時頃までには終えましょう。また、収穫後は礼肥を施用しましょう。

●礼肥
▽8月下旬(収穫後)
・ニューわかやま味一ブリケット(80kg/10a)
または
・わかやま配合(80kg/10a)
*樹勢が強い場合は施用量を控えましょう。
●病害虫防除
▽収穫後
◎カイガラムシ類

令和7年度 野菜花き産地強化事業

要望とりまとめについて (和歌山県補助事業)

施設園芸や露地野菜の生産性向上を図るため、ハウスの環境制御システムやスマート農機の導入を支援します。

事業主体 JA、出荷団体、農業者、協議会 等 **補助率** 下記補助対象機械・設備(税抜き事業費)の1/3以内
補助限度額 10,000千円 (ICT等の新技術を使用した機械設備またはハウスの高度化を含む場合 15,000千円)

対策	補助対象となる機械・設備
スマート農機等の導入	(1)省力化 → 農業用ドローン、野菜作業機(畝またぎタイプ)、移植機、ブームスプレーヤ、肥料散布機 等 (2)高品質化 → 予冷・冷蔵庫 等 (3)環境負荷低減につながる機械設備 → 有機物資源の有効利用、化学合成農薬・化学肥料の使用削減、温室効果ガスの排出抑制に必要な機器
施設園芸のDX	(1)ICT → 灌水・施肥システム、環境モニタリング装置、環境制御装置 等 (2)生産性の向上 → CO ₂ 発生装置、自動換気装置、自動カーテン装置、ヒートポンプ、高設栽培装置、養液栽培装置 等
ハウスの高度化	(1)ハウスの高度化 → 耐風性ハウス、耐暑性ハウス 等 (2)育苗施設 → 育苗ハウス、育苗関連機器 等

※ハウスの高度化には種類により上限額(1a当たり)が設定されています。 ※事業内容の一部変更や審査により、要望にお応えし兼ねる場合もあります。

申込締切日 令和6年8月30日(金)

果樹経営支援対策事業を活用しましょう!

優良品目、品種への転換 (2a以上)

果樹類の優良品目、品種など産地振興品目、品種への転換に対する助成です。

- ① 転換元がかんきつ類:**23万円/10a** ② 転換元が落葉果樹:**17万円/10a**
 - ③ 転換先が指定落葉果樹以外:**税抜き事業費の1/2以内** (3社見積もりが必要です。)
- ※指定落葉果樹とは…桃、柿、梅、イチジク、ブドウ、栗を指します。

小規模基盤整備 (10a以上)

園内道などの整備に対する助成です。

- 補助率: **税抜き事業費の1/2以内** (3社見積もりが必要です。)

品質向上施設の設置 (10a以上)

多目的スプリンクラーやマルチドリップなどの設置に対する助成です。

- 補助率: **税抜き事業費の1/2以内** (3社見積もりが必要です。)

特認事業 (10a以上)

代替軌道施設、防霜・防風施設(受電設備は含まない)の設置に対する助成です。

- 補助率: **税抜き事業費の1/2以内** (3社見積もりが必要です。)
- ※モノラック(本機と荷台のセット)の更新(安全鑑定取得機種で既存設備より牽引能力、積載能力の向上が条件)とそれに伴うレールの延長、支線の整備、レールの更新ができます。

果樹未収益期間支援事業 (5a以上)

優良品目、品種へ転換した担い手に対して未収益期間(5年間)のうち、改植初年度を除いた4年間の果樹の育成経費の一部を定額で支援するものです。

- 補助単価: **22万円/10a** (5.5万円×4年)
- ※事業終了後、果樹経営支援対策事業の補助金と一括で支払われます。

事業対象者 以下のすべての条件を満たす必要があります。

- 以下のいずれかに該当すること。
①認定農業者 ②農業所得が主で60歳代までの者がいる農家 ③農業所得が主で後継者が確実にいる農家 ④農業生産法人 ⑤新規参入者
- 温州みかんに関する事業を実施する場合は、温州みかん需給調整対策事業に参加していること。
- 防霜、防風施設を希望される場合は以下の条件をすべて満たすこと。
①果樹共済に加入していること ②受益面積は10a以上5ha未満であること ③国の補助事業による整備が困難であること

申込締切日: 令和6年8月9日(金)

それぞれの詳細は、**営農生活部 ☎473-9402** または**最寄りの営農センターまでお問い合わせください。**

令和6年 (令和5年産分)

「指定野菜価格安定対策事業」 「特定野菜等供給産地育成価格差補給事業」

下記の通り交付されましたのでお知らせします。

事業区分	品目	対象期間	交付金額(円)	件数	交付日
指定野菜価格安定対策事業	秋冬だいこん	令和6年 1月1日~3月31日	830,000	43	令和6年6月11日
	冬キャベツ		8,420,224	216	
	秋冬はくさい		2,240,879	146	
	ほうれんそう		45,000	21	
特定野菜等供給産地育成価格差補給事業	こまつな		491,177	25	令和6年6月13日
	しゅんぎく		375,131	17	
	ブロッコリー		365,776	63	
合計			12,768,187	531	

令和6年度 共販部会

肥料・農薬引き取り日程のご案内

北ブロック

- 日時** 8月22日(木)・23日(金) 8:30~17:00
- 場所** 北部営農センター集荷場(旧西田井集荷場)

中央ブロック

- 日時** 高積支店管内
8月19日(月)・20日(火) 8:30~17:00
ひがし支店管内
8月15日(木)・16日(金) 8:30~17:00
四ヶ郷中之島支店管内
8月15日(木)・16日(金) 8:30~17:00
- 場所** 中央営農センター

南ブロック

- 日時** 8月27日(火) 8:30~17:00
- 場所** 南部営農センター

東ブロック

- 日時** 旧岡崎・旧西山東・旧東山東支店管内
8月21日(水)・22日(木) 8:30~17:00
- 場所** 旧西山東支店
- 日時** 旧安原支店管内
8月19日(月)・20日(火) 8:30~17:00
- 場所** 旧安原支店

農作業中の熱中症を 予防しましょう!!

農業者の
みなさまへ



農作業中の熱中症対策チェック

☑ 高温時の作業は避けましょう

気温が高いときに激しい作業をすると、熱中症リスクはとて高くなります。どうしても作業をする場合は、日陰や風通しの良い場所で行えるものにしましょう。

☑ 単独作業は避けましょう

なるべく2人以上で作業し、時間を決めて声をかけあったり、異常がないか確認しあうようにしましょう。

☑ こまめな休憩と水分補給をしましょう

のどの渇きを感じる前に、こまめに水分の補給をしましょう。汗は体内の塩分も排出します。スポーツドリンクなどで塩分の補給も心がけましょう。



熱中症が疑われる場合には

① 作業を中断



(代表的な症状)

- ・汗をかかない、体が熱い
- ・めまい、吐き気、頭痛
- ・倦怠感、判断力低下

② 応急処置



- ・涼しい環境へ避難
- ・衣服をゆるめ体を冷やす
- ・水分・塩分を補給

③ 病院へ



応急処置をしても症状が改善しない場合は医療機関で診療を受けましょう!!

お住まいの地域の暑さ指数は
こちら!



環境省「熱中症予防情報サイト」

https://www.wbgt.env.go.jp/wbgt_data.php

熱中症警戒アラート等の
メール配信サービス(無料)はこちら!



環境省「熱中症予防情報サイト」

https://www.wbgt.env.go.jp/alert_mail_service.php

農林水産省

令和7年度 和歌山県農林大学校

農学部学生・林業研修部研修生募集

和歌山県農林大学校では、農林業に活力を与え、新たな価値を創造するとともに、将来の和歌山県の農林業を振興するリーダーとして活躍できる人材の育成のため実習に重きをおき実践力を身につける教育を行っています。

農学部(専修学校) 2年制	【定員】	園芸学科 アグリビジネス学科	30人 10人
林業研修部 ※専修学校ではありません	【定員】	林業研修部林業経営コース	10人程度



農林大学校HP

	農学部		林業研修部
	特別推薦入学試験	推薦入学試験	一般入学試験(前期)
	定員：募集人員の7割		選考試験
試験日	令和6年10月2日(水) 午前10時～	令和6年11月29日(水) 午前10時～	令和6年10月19日(土) 午前10時30分～
試験場所	農林大学校 農学部		農林大学校 林業研修部
合格発表	令和6年10月9日(火) 午前10時以降	令和6年12月4日(水) 午前10時以降	令和6年10月25日(金) 午前10時以降
願書受付期間	令和6年9月11日(水) ～令和6年9月20日(金)	令和6年11月8日(金) ～令和6年11月15日(金)	令和6年9月24日(火) ～令和6年10月8日(火)
受験資格	県内農業系4校*で5年一貫教育にて取り組みを行い、令和7年3月までに卒業見込みの者	令和7年3月までに高等学校を卒業見込みの者	高等学校卒業、または令和7年3月までに高等学校を卒業見込みの者
問い合わせ先	和歌山県農林大学校 農学部 〒649-7112 伊都郡かつらぎ町中飯降422 TEL:0736-22-2203 FAX:0736-22-7402		和歌山県農林大学校 林業研修部 〒649-2103 西牟婁郡上富田町生馬1504-1 TEL:0739-47-4141 FAX:0739-47-4150

*: 県内農業系4校は紀北農芸高校、有田中央高校、南部高校、熊野高校

農業者年金で生涯所得の確保を!

- あなたの老後生活への備えは十分ですか?
- 年金は家族一人ひとりについて準備することが大切です。
- 老後の備えは国民年金プラス農業者年金が基本です。

農業者年金へは…

国民年金第1号被保険者
国民年金保険料納付免除者を除く。
年間60日以上農業に従事
60歳未満
の方ならどなたでも加入できます。

月々の保険料を大きくすることで将来の支給額を増やせます

農業者年金の保険料は2万円から6万7千円まで(千円単位で)加入者が自由に選択できます。また、保険料の額はいつでも見直しできます。加入期間が短くても保険料を増やすことで豊かな老後に備えることができます。
※途中脱退された場合でもそれまでに積み立てた保険料は、将来、年金として支払われます(脱退一時金はありません)。

詳しくは… **農業者年金基金** 検索 <https://www.nounen.go.jp>

農業者年金の内容やご相談については、最寄りの農業委員会かJAまたは農業者年金基金にお問い合わせください。

独立行政法人農業者年金基金 TEL: 03-3502-3199(相談員) TEL: 03-3502-3942(企画調整室)

